

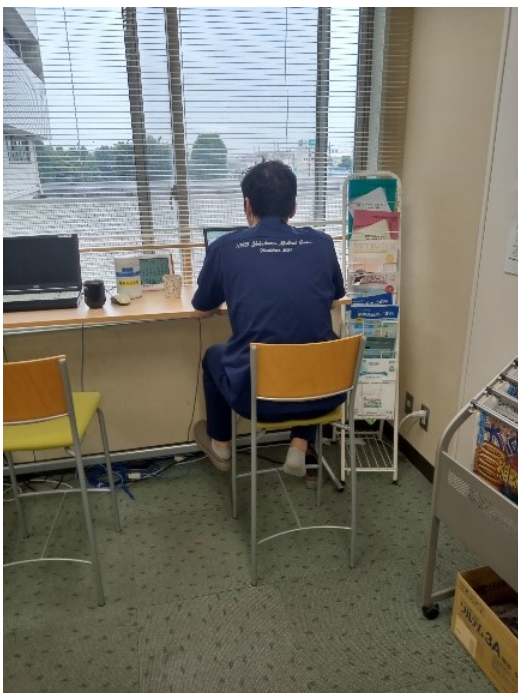
雨の季節がやってきましたが、出だしから新幹線が止まるなどの被害が甚大でしたね。私は神戸に学会で出かけていて、大慌てで飛行機に切り替えて帰ることができました。各地では洪水被害も発生しており、自然災害はなかなか克服できません。

さて、それは別として、4月と5月が進み、1年目の研修医の先生方も動きがスムーズになってきました。救急科を回っている3名も相当進歩しています。まだまだ思考の筋道は一本道ですが、それでいいんですよ。自分なりの解釈と方針を立てることが重要です。

初期研修を終えた専攻医の1年目の先生方もますます熟練してきました。スタッフドクターとして外来診療や侵襲的検査などに主体として携わり、顔つきが変わったように思います。

当院から専攻医として残っている先生方が3人いますが、それぞれが頑張っています。昨年度は10人の研修医が修了し、それぞれの道に進んでいます。おそらく7人は他の施設で頑張っていることでしょう。外科系、内科系、そして精神科へ進まれた先生方もいます。

医学生から研修医になることは大きなハードルでしょうけれども、専攻医として責任を持つこともまた大きなギャップだと思います。研修医のうちには上級医が必ず責任を取ります。それが上級医の役割ですから、安心して診療や研修に取り組むことができます。専攻医になると、それに頼ることはできません。



先日の当直の際、当院の研修医から残っている先生方が同じ日の当直に入っていました。診療科のはざままでややこしい症例も嫌がらずに引き受けてくれて、とても助かりました。「専門医である前に、一人の医者」ということを、今後も忘れないでいてほしいですね。できないことをやる必要はありませんが、それでもこれは大切なことだと思っています。

当直明けに大雨、哀愁が漂いますね。朝ごはん食べて元気つけてね。